

昇口(じょうくち)舗装事業

除染作業の終了した二枚橋須萱地区、白石地区から順次、希望者の取りまとめを行ったところ、39軒の申し込みがあり、7軒分の工事を発注しています。

農業再開に向けた生産者の動向

7月に二枚橋の「宿いいたていちご・ランド」が、震災後、初めてイチゴの出荷を行いました。本村農業の復興に向けて、今後でもできる限りの支援を行います。



除染の進捗(しんちよく)

8月21日現在、「二枚橋・須萱」「白石」行政区は約90%を超える状況となっています。また、「前田・八和木」「大久保・外内」「関根・松塚」の3行政区は、除染対象面積の約30%で、イグネ伐採は約97%を完了しています。

現在、5行政区に約2200人の作業員が入り、平成26年度内に宅地、建物、その周辺の森林、農地、道路など全ての除染完了を目指しています。

14行政区については、現在は仮々置場造成や建物・宅地、そこに隣接している森林・農地などを除染しております。

小宮仮設焼却炉

国が建設してきた小宮仮設焼却炉の「火入れ式」が8月6日に行われました。現在、6行政区内の屋内燃えるごみの収集を実施し、間もなく本稼働をするところです。

焼却稼働にあたり村は、国に施設周囲の排ガスや空間線量の確認を図り、適正な運営が図られるよう要請をしています。



除染後のガンマカメラによる測定

業務委託業者と委託契約をし、7月7日から二枚橋地区より着手し、今年度は890件を予定しています。

農業委員会の活動等

7月1日に農地法第6条に基づく「農業再生について」の建議を村に行い、7月から全農家を対象とした個別意向調査を開始しています。

また、平成25年度に法定化された農地台帳の電子化に着手し、来年4月からの農地台帳の一部公表に向けて事務を進めています。



いつとき帰宅バス

平成25年8月2日から運行を開始し、ちょうど1年となる平成26年7月31日現在、延べ633人が利用しています。

いやしの宿いいたて

利用者が平成26年7月末現在延べ64589人を数え、村民の心身の健康やストレス解消に利用されています。

村内再開事業について

平成24年7月19日の区域見直し以降、自動車整備業、建具製造業など平成26年7月末まで35事業所が国の許可を得て、村内で事業を再開しています。

内部被ばく検査と甲状腺検査

昨年に引き続き、村の幼稚園及び小・中学校に通う子どもたち、339人全員を対象とした、内部被ばく検査と甲状腺検査を実施しました。検査結果については、福島県立医科大学等で取りまとめを行い詳細がまとまり次第ご報告します。

集団検診結果説明会

7月22日から31日にかけて仮設住宅などで実施し、福島医大の医師による「よろず健康相談会」も併せて行いました。

百歳賀寿



沖縄までの旅

8月12日、永井ミツ子さん(関沢)に賀寿の伝達をいいたてホームで行いました。村で百歳賀寿を迎えられた方は、永井さんで14人目です。

7月20日から23日までの3泊4日の日程で、50人が参加し、環境保全や命の大切さを学びました。

未来への翼ドイツ研修事業

7月24日から8泊9日の日程で行われ、8人の中学生がドイツの自然エネルギーを活用した取り組みや農村の生活を勉強しました。

また、今回新たに設けたホームステイにより、ドイツの暮らしぶりを学びながら交流を行いました。本研修にも、4人の転校生徒が参加しています。

つぼみプロジェクト

東京大学や早稲田大学などの学生たちが、村の小学生に将来



第3回思いやりまでいラリーピンポン交流会

6月28日に青少年会館で村社会福祉協議会、(株)協和発酵キリンのご支援を得て、約150人の



村塾

8月4日から中学校を会場に中学1年生から3年生まで全学年の希望参加者の学力向上を目指して行われました。また、今年度より上智大学から述べ37人の大学生に村塾の講師として関わっていただき、個別指導による学習の充実を図りました。

上智大学の学生には、部活動にも協力いただき、中学校との連携を深め、より効果的な交流活動を実施しました。

が参加し、盛大に開催されました。